

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)様
2009年11月11日(水) 毎日新聞

日本人のがん検診受診率は約 **25%**

約 **80%** の欧米に比べて、その受診率の低さが日本をがん大国にしています。

あなたも、今すぐ、がん検診を。

「がんは早期発見が鍵」なる病状です。もし、がんになったら、早期に発見し治療することで多くの命が救われています。ところが、日本人のがん検診受診率は、わずか約25%。欧米に比べて、がんを完治できるチャンスが4割ほど少ないです。アフラックは、がんに関する専門家として、がん検診の大切さを伝える様々な活動を全国で展開しています。早期発見すれば、がん検診が思い通りに進められます。あなた自身のため、大切な家族のため、がん検診を受けてください。

アフラックは、厚生労働省が推進する、がん検診受診率50%をめざすプロジェクトを応援しています。大切なのは、早期発見とゆとりある治療。がん検診とがん保険が、あなたをがんから守ります。

Affac
アフラック

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!

株式会社メディネット 様
2010年1月10日(日) 朝日新聞

がん治療

再発、転移を防ぐために。
進行がんには負けないために。

最新のがん治療の新たな選択肢「免疫補助治療」
人間の身体は、がん細胞などの身体にとって危険な菌類を排除する機能が備わっています。その中心を担うのが「免疫細胞」と呼ばれる細胞です。この免疫細胞も、体質や年齢に伴って、増減、機能低下、死滅に陥ることにより、がん細胞ががん細胞を攻撃する機能を失って「免疫補助治療」です。

再発や転移の原因となる、目に見えない細胞ががんを、富める細胞が攻撃することです。この治療法を利用することで、がん細胞も増えることなく、再発・転移の防止、進行がんの抑制など、あらゆるステージにおける最新がん治療(1)の最新治療法として注目されています。

患者さんごとに異なるがん細胞-オーガニッド薬の実際
がん細胞は患者さんごとに異なる薬をします。免疫細胞にもいろいろな種類があり、それぞれ異なる機能、役割を持っています。「このがん細胞を攻撃するには、どの免疫細胞をどのようにつなげれば良いのか?」を考えなければなりません。

MEDINETは、①分子標的薬、②免疫補助薬(OC)など、各種免疫補助薬を利用した多様な治療法、がん細胞の特性を有効に活用する治療法なども開発、提供することにより、一人ひとりの患者さんそれぞれに最適な治療法を提供しています。

また、さらなる治療法向上を目指して、新たな免疫補助薬、遺伝子治療法の開発に力を入れています。国内外の大学病院等の研究機関と共同で、最新の臨床研究に取り組んでいます。

再発、転移を防ぐために、進行がんには負けないために。
私どもは、がんと闘うすべての患者さん、そしてご家族を応援します。

Emerging Bio-medical Technology
MEDINET

www.medinet-inc.co.jp/san-t

0120-360-285

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!